

平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
申請及び採択状況

	応募件数	採択	採択率
音楽	4	4	100.0%
舞踊	10	5	50.0%
演劇	17	8	47.1%
大衆芸能	1	1	100.0%
その他	15	9	60.0%
年鑑・調査研究	18	13	72.2%
合計	65	40	61.5%

平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業：採択団体一覧

分野	団体名	事業名	事業概要
音楽	公益財団法人新国立劇場運営財団	オペラを活用した総合的人材育成公演 新国立劇場オペラ研究所 ①試演会レベリニ「カプレーティ家とモンテッキ家」/C.グノー「ロメオとジュリエット」(抜粋上演)②修了公演(演目未定)	【概要】新国立劇場における3年間の総合的なカリキュラムにより、プロフェッショナルなオペラ歌手へと育成。演出、デザイン、舞台監督等のスタッフを総合的に育成するための有料公演を実施。 ①試演会 6月30日～7月1日(2回) ②修了公演 平成31年3月8日～10日(3回) 【対象者】研修生及び修了生、若手公演スタッフ
音楽	学校法人 東成学園 (昭和音楽大学)	日本のオペラ作品をつくる～オペラ創作人材育成事業	【概要】新たなオペラ作品を作るための過程を重視したワークショップ(声楽家、詩人、演出家や指揮者等のゲスト講師からのアドバイスをもらう等、オペラ創作の手法を具体的に学んでいく)を実施。 試演会 平成31年3月 【対象者】公募により選ばれた複数の作曲家(若手～中堅、40歳前後まで)、台本作家(若手～中堅、40歳前後まで)
音楽	公益社団法人 日本演奏連盟	新進演奏家育成プロジェクト ①リサイタル・シリーズ(札幌・東京・名古屋・京都・大阪・大分) ②オーケストラ・シリーズ(札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡) ③公開マスタークラス ④ジョイント・リサイタル	【概要】若手演奏家の育成を目的に、才能の発掘と演奏の場を提供する。 ①全国6都市におけるリサイタル・シリーズ 4月2日～翌年3月29日 ②全国6都市におけるオーケストラ・シリーズ 4月2日～翌年3月29日 ③トプカスの演奏家を招いた公開マスタークラス 4月2日～翌年1月31日 ④ジョイント・リサイタル 4月2日～翌年1月31日 【対象者】若手演奏家(④文化庁新進芸術家海外研修員)
音楽	公益社団法人 日本オーケストラ連盟	明日を担う音楽家たち2019～文化庁在外研修の成果～	【概要】新進芸術家海外研修を修了した者の中から特に優れた新進音楽家を世に紹介することを目的に「明日を担う音楽家たち2019」を開催する。独奏者は、過去5年間程度の期間で留学・研鑽を積んだ者から、現状での活躍、将来性を勘案し、文化庁と協議して決定する。 リハーサル・本番 平成31年2月 【対象者】文化庁新進芸術家海外研修制度研修修了者(音楽)
舞踊	キャメルアーツ 株式会社	舞踏家育成公演及び舞踊ワークショップ&野外公演	【概要】世界に通用する舞踊の振付・演出家と高い技術を持つ舞踏家を育成することを目的とした舞踏家育成公演及び、創造性豊かな芸術(舞踊)家を育成することを目的とした舞踊ワークショップ&野外公演を実施。 ①舞踏家育成公演(4回)6月1日～翌年1月26日 ②舞踊ワークショップ&野外公演 7月27日～8月5日 【対象者】舞踊の振付・演出家、舞踏家
舞踊	一般社団法人 現代舞踊協会	現代舞踊新進芸術家育成Project	【概要】現代舞踊家へ作品発表の場を提供し、新しい才能の発掘、ダンステクニックと作品の質的向上を促し、現代舞踊新進芸術家の育成を支援する。 ①現代舞踊フェスティバル 8月24日 ②選抜新人舞踊公演 9月26,27日 ③2018時代を創る現代舞踊公演 10月13,14日 ④新進舞踊家海外研修員による現代舞踊公演 平成31年1月9,10日 【対象者】現代舞踊家(振付家、ダンサー)
舞踊	公益財団法人新国立劇場運営財団	①バレエ・アステラス2018～海外で活躍する日本人ダンサーを迎えて～ ②エトワールへの道程2019	【概要】①海外で活躍しながら日本の公演に出演する機会の少ない日本人ダンサーにその機会を提供し、新国立劇場バレエ研究所研修生等も参加するバレエ公演。②バレエ研修生の修了時公演(研修生成果の発表) ①バレエ・アステラス 7月28日(1回) ②エトワールへの道程 平成31年3月16,17日(2回) 【対象者】海外で活躍する若手ダンサー、研修生及び修了生等
舞踊	公益社団法人 日本バレエ協会	新進バレエ芸術家育成支援事業	【概要】バレエ芸術家が活動できる機会を提供することで、人材の技能・作品の質的向上、国際的評価に耐えうる新進バレエ芸術家の育成を促す。またバレエ環境の改善を目的とする。 ①全国合同バレエの夕べ 8月3,4日 ②全日本バレエ・コンクール 8月15日～19日(5日間) ③Balletクレーション 11月17日 【対象者】バレエ振付家、若手舞踊家
舞踊	一般社団法人 日本バレエ団連盟	新進バレエダンサー育成並びにバレエ団運営の基盤整備及びマネジメント人材育成	【概要】海外優秀指導者による新進ダンサーの育成及び、海外事例調査によるバレエ団運営の基盤整備とマネジメント人材の育成。 ①マスタークラス 5～6月, 11～12月, 公開レッスン 6月, 12月 ②マネジメント研修・ワークショップ 10月 ③マネジメント事例調査 4月～翌年1月 【対象者】日本バレエ団連盟に加盟するバレエ団員、付属研修所研究生他
演劇	特定非営利活動法人 愛知人形劇センター	新人賞2018	【概要】人形劇分野の新たな人材の発掘と人形劇創造を目指す若手芸術家の育成を目的としたコンクールを開催。 一般公募 7～9月中旬 第一次選考会 10月 上演団体実技指導 12月～翌年2月上旬 最終選考上演会 平成31年2月16日～17日 【対象者】人形劇家(年齢、経験、国籍、アマ・プロを問わず)
演劇	公益財団法人新国立劇場運営財団	新国立劇場演劇研究所公演 ①第12期生試演会②第12期生修了公演(いずれも演目未定)	【概要】新国立劇場演劇研究所の研鑽の成果を発表する実践の場を提供し、プロフェッショナル演劇俳優としての自覚を養うとともに、次代を担い、日本の演劇界を支えていく俳優を育成する。 ①試演会 10月26～31日(6回) ②修了公演 平成31年2月8～13日(6回) 【対象者】演劇研究所研修生及び修了生
演劇	一般社団法人 全国専門人形劇団協議会	専門人形劇演技者育成講座	【概要】人形劇の発展をけん引している講師による講座を開催することで、次代の人形劇分野を形成する優秀な人材を育成する。 12講座 東京、神奈川、愛知、京都、大阪、飯田(長野)にて開催 【対象者】経験10年以下の新進専門人形劇演技者
演劇	社会福祉法人 トット基金 日本ろう者劇団	次代を担うろう者の新進芸術家育成事業2018	【概要】手話狂言の、次代を担う演者の発掘と育成及び手話弁士の育成、現在活動しているろう者のアーティストに学びの場を提供し、表現者としてのレベルアップをはかる。 手話狂言、手話弁士の育成、スキルアップのための様々なワークショップを実施 5月～翌年3月 【対象者】ろう者のアーティスト(手話狂言、手話弁士)
演劇	一般社団法人 日本演出者協会	平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業【次代の若手演出家育成事業】 ①演出家・俳優育成セミナー2018 ②国際演劇交流セミナー2018 ③日本の戯曲研修セミナー2018 ④若手演出家コンクール2018	【概要】日本各地において演劇文化を深め広げるため、セミナー等を各地で開催する。 6月～翌年2月 ①演劇大学(山形、北海道、大阪、島根) ②国際演劇交流セミナー(台湾、韓国、スイス、アルゼンチン) 年鑑作成 ③日本の戯曲研修セミナー(東京、福岡、名古屋) ④コンクール(若手演出家の発掘、審査を通しての育成等を目的) 【対象者】若手演出家、俳優

平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業：採択団体一覧

分野	団体名	事業名	事業概要
演劇	一般社団法人 日本劇作家協会	次代を担う劇作家を育成するためのプロジェクト	【概要】次代を担う新進の劇作家を育成するために、講座とドラマリーディングを運動させた総合的で実践的な事業を実施。東京、神奈川、大阪、北九州、東北にて定期的なドラマリーディングのワークショップ、大分、大阪にてドラマリーディング発表会・研究会の開催ほか、個別指導の「研修課」、公開講座「セリフの読み方」ワークショップを実施 4月～翌年3月 【対象者】新進劇作家
演劇	公益社団法人 日本劇団協議会	日本の演劇人を育てるプロジェクト	【概要】芸術団体単独では企画の実現が難しい公演やワークショップを実施することにより、新進鋭の演劇人にスキルアップの機会を提供し、演劇界を担う人材を育成する。『日本の劇』戯曲賞』『海外研修(文化庁新進芸術家海外研修制度)の成果公演』『新進演劇人育成公演』『新進演劇人集中講座』『演劇人交流育成公演』 4月～翌年3月 【対象者】将来有望な劇作家、演出家、俳優
演劇	公益社団法人 日本児童青少年演劇協会	児童青少年演劇「新進芸術家育成公演」	【概要】ホールでの公演の機会を提供、また意欲的な新作を公演することで、新進俳優、劇作家・演出家の育成を図る。(児童青少年演劇団体の中から2劇団2作品を選定。) ①劇団かかし座公演『オズの魔法使い』8月25,27日(4回) ②劇団うりんご公演『のらねこクラテス』12月21日～27日(11回) 【対象者】劇団かかし座新進俳優6名、劇団うりんご新進俳優5名
演劇	公益財団法人 舞台芸術財団演劇人会議	世界をめざす劇場芸術家養成事業－利賀演劇人コンクール	【概要】劇場文化と舞台芸術を担う時代の才能を発掘・支援し、作品創造に携わる演出家のみならず、作品を創造する集団や俳優、スタッフなどすべての能力向上を図り、芸術としての舞台芸術の発展に寄与する。 上演審査時期：7月23～29日 【対象者】舞台創造分野での舞台芸術家(7グループ 105名程度)
大衆芸能	公益社団法人 落語芸術協会	若手落語家育成公演	【概要】大衆芸能の素晴らしさを未来へ伝えていける、魅力的かつ創造性豊かな人材を育成する。 お江戸日本橋亭51公演、東村山土曜寄席5公演、横浜にぎわい座7公演、浅草演芸ホール7公演、羽村ゆとりぎ寄席4公演、宮城公演3公演、九州地区公演5公演、北海道地区公演3公演 【対象者】若手落語家
その他	株式会社 アート・ベンチャー・オフィス ショウ	平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「未来を担う美術家たち 21thDOMANI・明日展 文化庁新進芸術家海外研修制度の成果」	【概要】都心の国立新美術館で文化庁新進芸術家海外研修制度で研修を終えた新進芸術家たちの成果を展示することにより、文化庁新進芸術家海外研修とその成果(質の高さ、面白さ、多様性)を広く一般に周知する。 ①「21thDOMANI・明日展」国立新美術館 平成31年1月～2月 ②「21thDOMANI・明日展PLUS」(会場未定)平成31年2月～3月 【対象者】新進芸術家海外研修員
その他	特定非営利活動法人 映画美学校	映画・演劇を横断し活躍する俳優養成講座2018～演技を通じた新しいクリエイター創出を目的とする～	【概要】「映画と演劇」の表現の違いを俳優たちに意識させながら、双方の表現における演技の違いを体系的に理解させ、映画と演劇を往還できる新時代の俳優の育成を目的として、①「カメラに写し取られた」演技の考察と実践のワークショップ、②第一線の映画監督と舞台演出家による演技の指導、様々な演出家の元で経験を積み海外でも活躍する俳優による演技の指導等を実施して実施。①5～9月(講義12回)②9月～(講義82回程度) 【対象者】①昨年度本事業修了生 ②18歳以上(職業・経験年数不問)
その他	一般社団法人 コミュニティシネマセンター	映像アートマネージャー育成のためのワークショップシリーズ2018	【概要】映画映像を軸に、地域の文化事業を担う人材を育成することを目的に、シンポジウム(「全国コミュニティシネマ会議」)や、「上映者のためのワークショップ」、フィルムでの上映環境を保持するための情報提供やネットワークづくりを目的とした「シネマ・プロジェクト」、東北太平洋沿岸地域で映画上映の場を作り、映画文化拠点づくりを支援する「アートマネジメント・ワークショップ・イン東北」という4つのプログラムを実施。 【対象者】地域の映画映像事業に携わる若手スタッフ等
その他	国立大学法人 東京芸術大学	障害者の芸術活動を支援する新進芸術家育成とその育成を芸術系大学において行う基盤構築のための調査事業	【概要】障害者の芸術活動を支援できる幅広い見識を備えた人材を育成するため、金沢美術工芸大学と連携し、①障害者の芸術活動を支援する新進芸術家育成事業を実施する。また、②その育成を芸術系大学が行っていくための基盤構築を目的とした調査を実施する。 【対象者】美術の専門性を有した若手芸術家で障害者の芸術活動支援に関心のある者
その他	協同組合 日本映画・テレビ美術監督協会	明日を拓く映画美術スタッフ育成プロジェクト2018「映画美術スタッフ塾」	【概要】映像美術を表現する美術職能スタッフの専門的な技術の継承、開発、人材の教育、育成するため、講座を通して撮影に至るまで、映像ができるまでの過程を実習を通して学ぶ「映画美術スタッフ塾」を実施する。 Part1(8月)、Part2(11月)、Part3(平成31年3月) 【対象者】映像関係を学ぶ大学生、専門学校生、社会人(経験年数不問)
その他	公益社団法人 日本照明家協会	舞台・テレビジョンのための新進照明家育成公開講座(中央講座)	【概要】「創造と技術」をテーマに「深い知識・教養」と「高い技術」を追求する人材育成を目的とし、高度な技術を持つ上級者のための「中央講座」を実施する。平成31年1～2月。実施都市は東京、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡、高知、那覇等の内から4～6か所を選定。各会場連続3日間、1日4～5コマ、1回90分、計12コマ。 【対象者】照明技術者技能検定2級を取得後3年以上または照明実務経験5年以上の照明家の中で特に優れた者(各会場10～20人程度を公募)
その他	学校法人 日本大学	大学連携による映画人育成のための上映会 S.T.E.P	【概要】映画教育を行っている15大学が会した全国映画教育協議会が中心となり、映画関連団体などと連携して若手映画人の作品を一般映画館で公開する。プロの講師による講演会、観客によるアンケート等による作品の評価を通じて若手映画人のステップアップを促すとともに、優れた若手映画人を世に送り出すことに寄与する。 【対象者】全国映画教育協議会参加校を中心とする学生及び卒業生、映画祭などの受賞作品の制作関係者で経験年数10年以内の者
その他	一般社団法人 日本舞台音響家協会	舞台音響家のための公開講座	【概要】舞台音響技術の向上を目的に、初期教育としての「基礎コース」(1回実施)、高度な教育としての「技術コース」(1回実施、3日)、演劇音響分野における専門教育としての「演劇コース」(2会場で各1回、各2日)、一つの研究テーマを設けて掘り下げていく「研究コース」(1回実施、1日)の4つの講座を実施。公共の劇場もしくは教育機関が所有する収容人数300～700名のホールを予定。 【対象者】舞台音響家を目指す学生、経験者及び一般

平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業：採択団体一覧

分野	団体名	事業名	事業概要
その他	一般社団法人 舞台技術者連合	舞台技術者のための横断的総合研修「基礎」「中級」「上級」	【概要】専門的人材の育成・確保及び資質の向上のため、基礎知識を扱う「基礎」、舞台技術専門員を養成する「中級」、高度な知見や総括能力を有した舞台技術上級専門員を育成する「上級」の3段階の総合研修を実施 ①「基礎」7～9月 各4講義 北海道、中部、関西 ②「中級」8月10～15日の連続した2日間、各日4講義 東京 ③「上級」平成31年2月1～10日の連続した2日間、各日4講義 東京 【対象者】舞台技術者・会館職員・劇場及び舞台関係者全般
年鑑・調査研究	学校法人 東成学園(昭和音楽大学)	『日本のオペラ年鑑2017』編集・刊行事業	【概要】日本のオペラ界の状況の総合的な把握を可能にすることを目的に、2017年一年間に行われた我が国のオペラ公演に関する定量的な分析、主要な公演を概観する記事とともに、時事的な問題あるいは我が国のオペラ界が抱える課題に関する特集記事を掲載した『日本のオペラ年鑑2017』を編集・刊行する。【作製：1500部】
年鑑・調査研究	公益社団法人 日本演奏連盟	演奏年鑑2019-音楽資料(通巻第45号)	【概要】我が国クラシック音楽界の動向を研究するとともに最新の音楽資料の収集、後世に残る貴重な資料に資するため、全国各地の音楽ホールで開催されているクラシックの演奏会を調査、記録し、数値データに表すほか、コンクールや講習会、奨学金制度、音楽関係者名簿等の情報も掲載する。【作製：1600部】
年鑑・調査研究	公益社団法人 日本オーケストラ連盟	日本のプロフェッショナル・オーケストラ年鑑2018	【概要】文化芸術活動に携わる者が今後の日本の文化の方向性を研究する際に役立ち、オーケストラの課題の把握することを目指し、各年度ごとの各オーケストラ活動の状況、経営の状態などを多角的に記載された年鑑を編集する。また年鑑の情報を日本オーケストラ連盟ホームページ上で公開する。【作製：3000部】
年鑑・調査研究	公益社団法人 日本バレエ協会	舞踊公演アーカイブ事業《舞踊年鑑2018と舞踊公演データベース》	【概要】舞踊家のみならず研究者やマスコミ等の利用に供することを目的に、年間における我が国の舞踊分野の舞台活動について可能な限り正確な公演情報を収集・調査・整理し、データベース化してウェブ上で公開するとともに、「舞踊年鑑2018」を発行する。【作製：1000部】
年鑑・調査研究	公益社団法人 国際演劇協会日本センター	「国際演劇年鑑」(日本編・海外編)の編集と発行	【概要】日本と海外との演劇交流を促進するための知識基盤を形成するとともに、現場の演劇交流の多様なチャンネルを確保し拡大するために、「日本編」と「海外編」二分冊で「国際演劇年鑑」を発行する。「日本編」では日本の演劇状況をジャンルごとに英語で紹介し、「海外編」では海外各国・地域(20～25か国前後)の演劇事情を日本の読者に対して紹介する。【作製：英語版1200部・日本語版1200部・別冊(戯曲集)700部】
年鑑・調査研究	特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター	「18 日本の人形劇」の発行	【概要】全国の人形劇団、伝統人形劇伝承団体、人形劇関連団体約200団体からの情報をもとに、日本全国の伝統人形劇、現代人形劇の1年間の活動状況を詳細に記録し、「18 日本の人形劇」を発行し、WEB上でも公開する。また人形劇創造を目指す若手芸術家の育成に資することを目的に、ウニマ(国際人形劇連盟)の協力により、主にヨーロッパを中心とした国々の人形劇事情を提供する。【作製：700部】
年鑑・調査研究	公益社団法人 日本演劇協会	「演劇年鑑」の作成	【概要】情報基盤を築き、演劇文化振興及び演劇人育成に資することを目的に、年間に上演される演劇作品の公演情報を通年収集し、整理、記録し、それらを刊行物として関係各方面に配布するとともに、WEB上でも公開する。【作製：530部】
年鑑・調査研究	一般社団法人 日本劇作家協会	現代日本の劇作(英語)	【概要】日本の現代戯曲を英語に翻訳して海外で紹介(国内外の劇場や演劇関係者などに配布)、海外での日本現代劇の上演といった、演劇の国際交流のより深い可能性を生み出し、ひいては日本の現代の芸術文化の生き生きとした動きを海外に伝えることに寄与する。(翻訳作品は3作品を選定)【作製：300部】
年鑑・調査研究	特定非営利活動法人 アートNPOリンク	アートNPOの運営実態調査+アートNPOデータベース2018-19「実践編！アートの現場からうまれた評価」	【概要】多様な芸術文化の実践現場にインストール可能な評価を検討するため、3年以上の活動実績を持つ全国のアートNPO法人を抽出し、組織評価及び事業評価に対するイメージと具体的な取り組みといった意識及び実態調査、アンケート調査を通じて得た諸データ、情報を検証し、調査報告書「アートNPOデータベース2018-19」にまとめるとともに、WEB上でも公開する。【作製：700部】
年鑑・調査研究	公益社団法人 企業メセナ協議会	民間のメセナ活動および国内外の芸術・文化振興に関する調査研究	【概要】日本の企業メセナの実態を継続的に調査、現代の社会創造に貢献する企業メセナを把握し「Mecenas Report2018」にまとめ、国内外へ発信する。また「メセナ・アンソロジー」、「メセナ・ライター」事業において、外部の若手研究者や、アートマネージャー、民間企業人等を募り、芸術文化の専門的知識のみならず、企業からの視点と併せ持つ人材を育成するとともに、事例研究、レポートはWEB上で公開する。【作製：3000部】
年鑑・調査研究	一般社団法人 コミュニティシネマセンター	「映画上映活動年鑑2018」の作成	【概要】映画の「興行」(及び配給)の動向に関する既存のデータや情報を活用しながら、これに映画祭や公共ホールでの上映等(公共上映)の新しいデータを加えて、より幅広い視点から地域における映画の「上映」をとらえ、データを収集し、2018年の映画上映の状況を分析し「映画上映活動年鑑2018」を作成するとともに、WEB上でも主要部分を公開する。【作製：300部】
年鑑・調査研究	協同組合 日本シナリオ作家協会	「17年鑑代表シナリオ集(2018年発行)」	【概要】シナリオ作家、映画監督、プロデューサー、撮影監督、美術監督、録音、編集、照明、スクリプター、俳優など映画製作に携わろうとするすべての新進映画人を育成することを目的に、前年を代表する優れた邦画のシナリオを10篇程度収録する「年鑑代表シナリオ集」を出版する。【作製：200部】

次代の文化を創造する新進芸術家育成事業協力者会議委員一覧

音楽部門	舞踊部門	演劇部門	大衆芸能部門
伊東 信宏	海野 敏	小田島 恒志	大友 浩
白石 美雪	楫屋 一之	古城 十忍	荻田 清
野川 美穂子	桜井 多佳子	酒井 誠	中村 真規
野平 一郎	新藤 弘子	久野 敦子	古川 綾子
樋口 隆一	長野 由紀	渡辺 弘	油井 雅和
その他部門	年鑑・調査研究部門		
天野 太郎	池田 恵巳		
井上 桂	樽松 三郎		
太下 義之	酒井 誠		
栩木 章	長井 好弘		
本郷 寛	本郷 寛		

(五十音順・敬称略)